

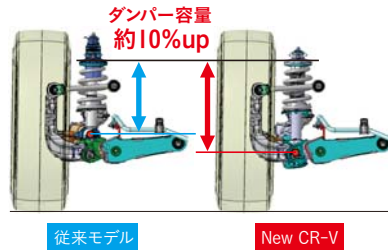
しなやかに、そして静かに。上質な乗り味を生むサスペンション&ボディ。

リアダンパーの容量をアップし、しなやかで上質な乗り味を実現。

コンパクトリアアクティブリンク・ダブルウィッシュボーンサスペンションを踏襲しながら、リアダンパー下側の取り付け点を下げることでダンパー全長を延長。これにより約10%の容量アップを実現し、減衰性能を高めました。さらに、このレイアウト変更により、レバー比(ホイールとダンパーのストローク比)の変化を抑え、リニアな特性を獲得。また、フロントダンパーもリアダンパーの特性に合わせてセッティングを見直し、さまざまなシーンでしなやかかつ上質な乗り味を実現しています。

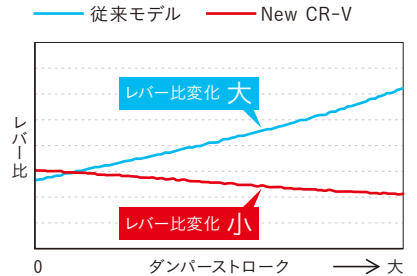
比較数値は従来モデル比 Honda測定値

■リアダンパー説明図



ダンパー下側取り付け点を下げ容量をアップ

■ダンパーストローク/レバー比変化イメージ



効果的な補強を施し、ハンドリングと乗り心地を高次元で両立するボディ骨格。

ハンドリングや乗り心地、静粛性など、クルマのさまざまな性能を支えるボディ。軽量で高剛性の構造をベースにサスペンション取り付け部や結合部を強化しました。ダンパーセッティングと合わせ、街中での機敏なハンドリングを実現するとともに、全速度域において乗り心地を向上しています。

■ボディ強化説明図

連続閉断面構造のフロントバルクヘッド

連続閉断面構造のテールゲート開口部

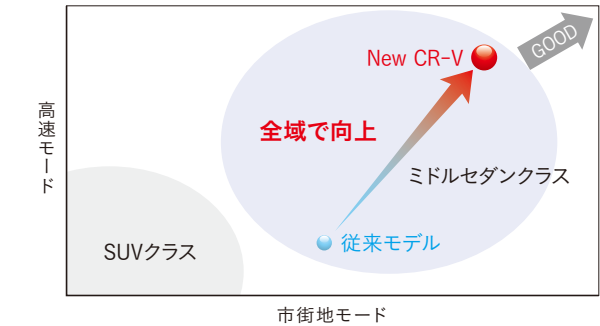
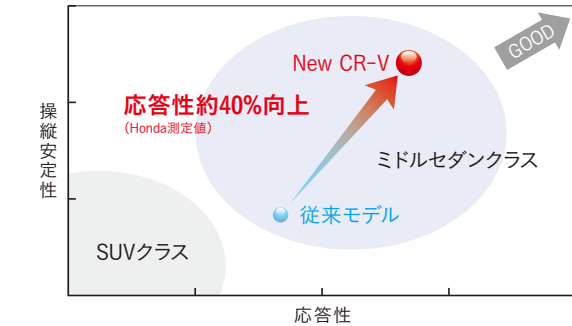
■乗り心地比較イメージ

連続閉断面構造のフロントバルクヘッド

連続閉断面構造のテールゲート開口部

サスペンション取り付け部を強化

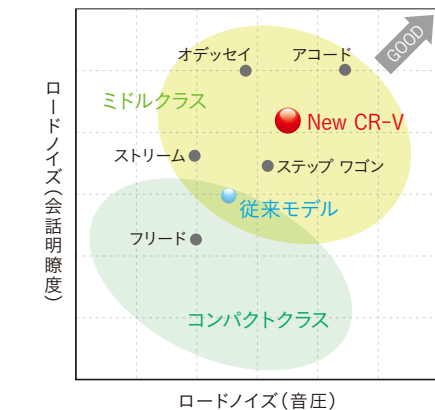
■ハンドリング比較イメージ



吸・遮音処理を徹底し、静粛性をさらに向上。

ボディの強化により振動の発生を抑えたくて、吸・遮音材を効果的に追加配置。いっそう静かな室内を実現しています。

■静粛性比較イメージ



■吸・遮音材説明図

